



明日の才キナワを
一緒に創る人募集。

沖縄県 職員採用試験



◎ 沖縄県職員 採用案内

求められる 沖縄県職員像

『沖縄 21 世紀ビジョン』に掲げられた沖縄の将来像を実現するため、「個性と能力を存分に発揮しながら未来を切り拓き、ワーク・ライフ・バランスを大切にしながらともに支え合い、高い倫理観と使命感を持って県民の福祉の増進に貢献できる職員」を求めています。

沖縄の将来像 ～沖縄 21 世紀ビジョン～

沖縄 21 世紀ビジョンは、県民の参画と協働のもとに、将来（概ね 2030 年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想です。沖縄県として初めて策定した長期構想で、沖縄の将来像の実現を図る県民一体となった取組や、これからの県政運営の基本的な指針となるものです。



将来像 1 沖縄らしい自然と歴史、
伝統、文化を
大切にする島

将来像 2 心豊かで、
安全・安心に
暮らせる島



沖縄 21 世紀ビジョン

県民が望む将来の姿

将来像 3 希望と活力にあふれる
豊かな島



将来像 4 世界に開かれた交流と
共生の島



将来像 5 多様な能力を発揮し、
未来を拓く島



新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画

将来像実現に向けた「基本方向」や「基本施策」

新・沖縄 21 世紀ビジョン実施計画

基本計画に掲げた施策ごとの「具体的な取組や成果指標」

沖縄県の概要



沖縄県は、東西約 1,000 km、南北約 400 km の広大な海域に、大小 160 の島々（うち有人島 47）からなり、那覇市をはじめ 41 の市町村があります。

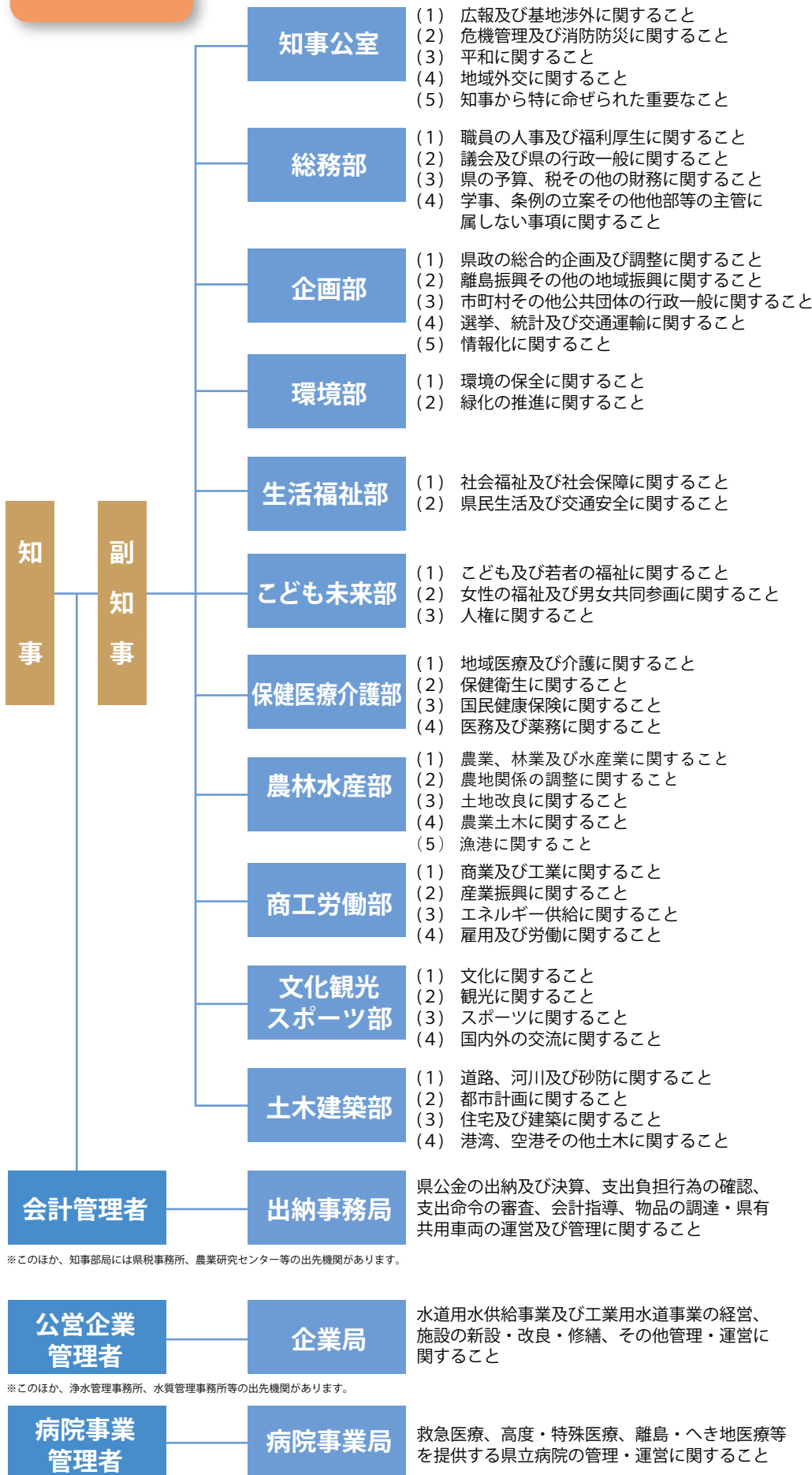
本県は、温暖な亜熱帯・海洋性気候の下、サンゴ礁の発達した海と豊かな森が広がり、イリオモテヤマネコやノグチゲラ等貴重な野生動植物が生息・生育するなど、自然環境に恵まれています。

本県の人口は令和 6 年 3 月 1 日現在で約 147 万人となっています。

また、本県の人口に占める子どもの割合は令和 4 年 10 月 1 日現在で各都道府県の中で最も高く 16.3% となっています。

組織図

令和6年4月現在の組織図です。組織図の詳細版(各部等に設置される課や出先機関の名称等が記載されたもの)については、各任命権者のホームページに掲載されている組織図等を、業務内容の詳細等については各課等のホームページ等をご覧ください。



教育委員会

教育庁

教育行政の総合的企画・調整、学校施設の整備、学校職員の人事、学校教育の助言・指導、生涯学習の振興、文化財保護などに関すること

※このほか、県立学校等があります。

公安委員会

警察本部

個人の生命・身体・財産の保護、犯罪の予防・鎮圧・捜査、被疑者の逮捕、交通の取締、その他公共の安全と秩序の維持に関すること

※このほか、警察署、警察学校等があります。

県議会

議会事務局

県議会の本会議や委員会の運営、請願・陳情の処理、その他議会活動に必要な調査や資料収集に関すること

人事委員会

事務局

監査委員

事務局

労働委員会

事務局

収用委員会

選挙管理委員会

内水面漁場管理委員

海区漁業調整委員会

職種紹介



行政・一般事務

防災、基地渉外、県政の総合企画、文化振興、環境保全、福祉・医療、農林水産業振興、観光・商工業振興、雇用対策、社会基盤整備、教育、水道等の幅広い分野に関する各種施策の企画立案を始め、県税の賦課徴収、市町村支援、許認可、企業誘致、用地取得、庶務・経理等の様々な業務に従事します。

配属先

本庁各部、出先機関（県税事務所、福祉事務所、保健所、土木事務所等）、教育庁、企業局、病院事業局、県議会事務局、各種行政委員会等



電気

上下水道電気設備の維持管理、施設建設にあたっての電気設備の設計、施工監理、県庁舎等の県有施設における維持管理等の業務に従事します。

配属先

本庁土木建築部、下水道事務所、浄化センター、企業局等



建築

建築物の確認・許可、県営住宅の計画・建設・管理、住宅行政に関する企画立案、県有建築物の企画・設計、工事監理、維持管理、建築指導等の業務に従事します。

配属先

本庁土木建築部、土木事務所、教育庁等



農業土木

ほ場やかんがい施設、農業道路整備に関する企画・設計・施工監理等、主に農業に関するインフラ整備に携わります。

配属先

本庁農林水産部、農林水産振興センター、農林土木事務所等



林業

森林の整備、林業の経営指導、森林に関する研究、緑化の企画等の業務に従事します。

配属先

本庁農林水産部、農林水産振興センター、林業事務所、森林資源研究センター等



警察事務

福利厚生、予算編成・執行、給与事務等のほか、指紋等を鑑定する業務、犯罪や事故の統計分析、交通規制、コンピュータシステムの開発等多岐にわたる業務に従事します。

配属先

警察本部、警察署等



県立学校事務 I

管理運営に係る予算経理、授業料等の歳入事務、奨学奨励費給付事務、調査統計、施設維持管理、公有財産管理、学校安全管理、教職員の給与等学校運営全般にわたる事務に従事します。

配属先

県立学校等（高等学校・特別支援学校）



心理

児童相談所等において、診断面接、心理検査、観察等によって心理診断、心理治療、カウンセリング、助言指導等の業務に従事します。

配属先

児童相談所、身体障害者更生相談所、総合精神保健福祉センター、本庁生活福祉部等



機械

上下水道機械設備の維持管理、施設建設にあたっての機械設備の設計・施工監理、県庁舎等の県有施設における維持管理等の業務に従事します。

配属先

本庁土木建築部、下水道事務所、浄化センター、工業技術センター、企業局等



化学

環境施策に関する企画立案、環境調査、水質管理、企業への技術支援等の業務に従事します。

配属先

本庁環境部、衛生環境研究所、保健所、下水道事務所、工業技術センター、企業局等



農芸化学

環境施策に関する企画立案、環境調査、食品衛生に関する指導監督、農芸化学に関する研究等の業務に従事します。

配属先

本庁環境部、保健所、本庁農林水産部、農業研究センター等



水産

水産業の振興、漁業に関する研究、水産種苗の量産、栽培技術開発等の業務に従事します。

配属先

本庁農林水産部、水産海洋技術センター、栽培漁業センター等



農業管理 (R6 より新設)

圃場管理、栽培管理、機械整備等の研究支援に関する業務に従事します。

配属先

農業研究センター、森林資源研究センター、農林水産振興センター、本庁農林水産部等



県立学校事務 II

図書館事務（図書資料の収集・整理・保管・貸し出し、図書案内、相談等の業務）及び学校事務（県立学校事務 I に同じ）に従事します。

配属先

県立学校等（高等学校・特別支援学校）



社会福祉

児童に関する相談・指導、児童施設での生活指導（交替制勤務）、障害者や高齢者等に関する相談や自立支援、生活困窮者に関する支援、福祉施策に関する業務に従事します。

配属先

児童相談所、若夏学院、福祉事務所、本庁子ども未来部等



土木

道路、河川、港湾、海岸、空港、上下水道等の様々な社会基盤整備に関する企画・設計・施工監理等の業務に従事します。

配属先

本庁土木建築部、土木事務所、企業局等



農業

農業施策に関する企画立案、農業経営の支援、生産技術の普及指導、育種や栽培技術の開発等の業務に従事します。

配属先

本庁農林水産部、農林水産振興センター、農業改良普及センター、農業研究センター等



畜産

畜産業の経営指導、家畜の改良・増殖、飼料の研究開発、畜産に関する環境保全等の業務に従事します。

配属先

本庁農林水産部、家畜保健衛生所、畜産研究センター等



病院事務

県立病院に係る経営分析・企画、予算編成、会計、庶務、医療費等の請求事務、施設維持管理、職員の給与・旅費・福利厚生等、病院経営全般にわたる事務に従事します。

配属先

県立病院、病院事業局等



畜産管理 (R6 より新設)

牛・豚・山羊等の飼養管理、草地管理、機械整備等の研究支援に関する業務に従事します。

配属先

畜産研究センター、家畜改良センター、農林水産振興センター、本庁農林水産部等



市町村立学校事務

文書管理、各種証明書発行、施設管理、備品関係等、学籍関係では教科書事務、就学援助事務等、その他教職員の給与等学校運営全般に関わる業務に従事します。

配属先

市町村立小学校・中学校等（当区分で採用された場合は、沖縄県教育委員会が任命権を持つ市町村職員となります。市町村間の異動はありますが、県職員としての人事交流は原則としてありません。）

データで見る職員の勤務条件

※ここでは主に知事部局の事例を取り上げています。勤務条件や休暇取得の状況等は任命権者（教育庁、県警など）や職種によって異なります。

給料・手当

初任給（基本給）

初任給は試験の種類、職種によって異なるほか、職歴等により加算されることがあります。（（行政職の例）令和6年4月時点）

■上級	196,200円
■中級	179,100円
■初級	166,600円

経験年数別の平均給料月額（基本給）

経験年数に応じた給料月額の平均は次のとおりですが職種によって異なることがあり、また、職歴等により加算されることがあります。（（一般行政職(大卒)の例）令和5年9月時点）

■10年目	251,736円
■20年目	359,451円
■30年目	398,296円

諸手当

期末、勤勉手当（ボーナス）、通勤手当、住居手当、時間外勤務（残業）手当など、支給要件に応じて支給されます。

■（例）期末、勤勉手当（ボーナス） 4.5月分
（令和6年度現在）

平均給与

諸手当を含む職員の平均給与月額と年間の給与額。
（（新規卒卒者を除く行政職給料表適用の例）令和5年4月時点）

■月額 約 35万円 ■年間 約 570万円

勤務の状況

平均年齢 41.2歳（行政職の例）令和5年4月現在

勤務時間 平日 8:30～17:15

任命権者、部門、職種によっては変則勤務をすることがあります。

時差通勤 5パターン
7:30～16:15、8:00～16:45
8:30～17:15、9:00～17:45
9:30～18:15

ライフスタイルに合わせて勤務時間を前後1時間を限度にスライドさせることができます。
（知事部局の例）

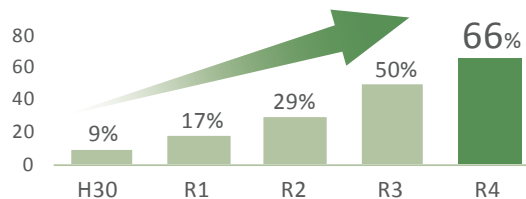
休暇

年次休暇は年20日（4月採用の1年目の場合は15日）です。使わなかった休暇は翌年に限り、最大20日繰り越すことができます。その他に夏季休暇（5日）、病欠休暇、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇等があります。

20日/年
■取得平均 14日/年

男性職員の育児休業等取得率

女性職員の育児休業等取得率は100%となっていますが、近年は男性職員の取得率も増加傾向が続いています。



女性管理職の登用の促進

管理職に占める女性職員の割合は年々増加傾向にあり、女性職員の職域拡大や職場環境の整備に取り組んでいます。

■職員に占める女性職員の割合 33.4%（令和4年度現在）
■管理職に占める女性職員の割合 20.7%（令和5年度現在）

配属先

新規採用職員は本庁各課をはじめ、県税事務所、福祉事務所、土木事務所等の機関、また、技術系の職種では、各種試験研究機関等に配属される場合があります。（知事部局の例）

異動のサイクル

知事部局、企業局、病院事業局等の基本的な異動のサイクルは3年、学校事務の公立小・中学校は3年、県立高等学校では5年（離島などの勤務先は3年）となっています。

■基本 3年（県立高校は5年）

北部・離島の勤務

広域的な業務に的確・迅速に対応するため、本庁だけではなく、北部や離島の出先機関へ配属されることもあります。



研修制度等

派遣研修

内閣府や経済産業省等の各省庁、民間企業などへの派遣研修のほか、海外への派遣研修（県行政の主要施策の推進に関連するアジア等）もあります。

フレッシュマントレーナー制度

新採用職員の不安の解消や円滑な業務実施につなげるため、新採用職員への相談役となる先輩職員をトレーナーとして配置し、新採用研修だけでは学べない様々な業務や習慣（書類の作成方法や決済の取り方等）について相談することができます。

※参考「職員の給与に関する報告及び勧告 公務運営の課題に関する報告 ポイント（令和5年10月 沖縄県人事委員会）」

※参考「令和4年度沖縄県人事行政の運営等の状況（令和5年9月 沖縄県）」

※参考「両立支援ハンドブック～仕事と子育て・介護の両立のために～（令和4年12月（第7判）総務部人事課）」

ワークライフバランス

育児休業取得者からのメッセージ



平成 26 年度採用

文化観光スポーツ部 観光政策課

金武 洸平



●制度を利用しやすい環境です

令和 5 年 2 月に第 1 子が誕生し、令和 5 年 4 月から 9 月までの半年間、育休を取得しました。

業務の引き継ぎや区切りの良さを考えて 4 月からの育休取得としましたが、2 月から 3 月の間は出産補助休暇や育児参加休暇を利用することで、育児はもちろんです、出産後体調を崩していた妻をサポートできました。

また、令和 5 年 10 月から翌年 3 月までは育児短時間勤務制度を利用して、保育園の入園手続きなど職場への本格的な復帰を見据えた準備を進めています。

沖縄県は子育て支援制度が充実していて、職場の上司や同僚の理解もあり、仕事と育児を両立しやすい環境だと思います。

育児に集中できる環境になったことで、子供の日々の成長をより身近で感じる事が出来たのは、何物にも代えがたい貴重な経験でした。育休を取得して本当に良かったと感じています。



平成 27 年度採用

商工労働部 産業政策課

金城 裕也



●男性も子育てがしやすい。

私は、妻が次男を妊娠している時期に 9 か月間の育休を取得しました。育休の取得を決めた理由は、妻が妊娠した当時、長男がまだ 0 才で、妊娠している妻が面倒を見るには負担が大きいと考えたためです。

育休は、自分自身の成長につながる機会になったと感じています。

育児は時間のない中で様々なタスクをこなさなければなりません。効率的に家事育児をこなす方法や物事の優先順位のつけ方を常日頃から意識することができるようになりました。

育休で培ったマインドは、仕事でも活かしていると思います。

また、育休は自身の成長だけでなく、家族との思い出を作れる貴重な時間にもなりました。子供の初めての寝返りやハイハイしている姿をリアルタイムで見ることができたり、家族でお出かけしたりと家族と過ごす時間を大幅に確保することができました。

職場復帰してからも、子どもの送迎を行うため時差出勤を活用したり、子どもが体調を崩したときに看護休暇を活用したりと、復帰後も育児を後押しする体制が整っていると感じました。

沖縄県では、子育て支援制度が充実しており、子どもの状況に応じた制度の活用ができます。男性でも子育てしやすい雰囲気がつくられており、私自身も制度を活用しながら、ワークライフバランスを図りながら、充実した県職員ライフを過ごしています。

■主な子育て支援制度

仕事と子育てを両立しながら、安心して子育てができるよう、次のような休暇制度等があります。

制 度	給 与	内 容 ・ 利 用 期 間
産前産後休暇	有給	産前 8 週（多胎妊娠の場合は 14 週）から産後 8 週まで取得できます。
出産補助休暇	有給	男性職員のみ。配偶者の出産のため、看護（付き添い）や家事等に従事する場合に取得できます。（出産予定日の 10 日前から出産後 10 日までで 3 日を超えない範囲）
育児参加休暇	有給	男性職員のみ。生まれてくる子又は小学校就学前の子を養育する場合に取得できます。（産前 8 週（多胎妊娠の場合は 14 週）から産後 8 週までで 5 日を超えない範囲）
育児休業	無給※	子が 3 歳に達するまでの間、必要な期間を取得できます。 ※子が 1 歳に達するまでは地方公務員共済組合から育児休業手当金が支給されます。
育児部分休業	一部減額	小学校就学前の子を養育する職員が、1 日の勤務時間の一部を勤務しないことができます。（1 日 2 時間を超えない範囲）
育児短時間勤務	一部減額	小学校就学前の子を養育する職員が、勤務時間を短縮することができます。（週 19 時間 25 分～24 時間 35 分）
早出遅出勤務	有給	小学校就学前の子を養育する職員が、早出または遅出勤務を行うことができます。（午前 8 時～午後 4 時 45 分、午前 9 時～午後 5 時 45 分、午前 9 時 30 分～午後 6 時 15 分）
子の看護休暇	有給	中学校就学前の子を養育する職員が、その子を看護する場合等に取得できます。（1 年に 5 日（子が 2 人以上の場合 10 日）を超えない範囲）
休憩時間変更	有給	妊娠中の職員や子どもを養育している職員が、休憩時間を変更することができます。（通常正午から午後 1 時までの休憩時間を、正午から午後零時 45 分までの 45 分間に変更することができます）

先輩職員からのメッセージ

掲載職員の試験区分及び現在の所属部署等は令和6年2月末現在のものです。異動経歴は在籍時の組織名で掲載しています。



行政

知事公室
基地対策課

柴田 学

平成 29 年～統計課
令和 2 年～福島県避難者支援課
(震災派遣)
令和 3 年～内閣府研修
令和 5 年～現所属



ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁
	9:30	課内調整
	10:30	部内調整
P M	12:00	昼食
	14:00	関係機関との調整
	16:00	知事取材対応
	18:00	議会対応準備
	20:00	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

基地問題に係る情報発信・世論喚起に関することや、国の安保関連3文書改定に伴う県の対応及び尖閣諸島を巡る問題への県の対応等に当たっています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

国の総合的計画の立案等を行う省庁職員や住民と直に接する市町村職員のやりがいにも惹かれましたが、県民からの声を直接に聞きながらも、広域的な業務に携わることができる都道府県庁の職員が私にはより適していると考え、志望しました。

私は、県外の出身ではありますが、どの地域にもない沖縄独特の優位性には非常に大きな可能性を感じました。また、沖縄が抱える課題を解決させること、沖縄の希望ある将来を築いていくことに携わることが、やりがい・プライドを持ちながら一生をかけられると思いついて入庁を決めました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

業務の中で、県内市町村とのやりとりのほか、国の省庁、他の都道府県や民間事業者など多様な関係者とのやりとりが豊富にあったことです。また、外部の多くの方から、沖縄県の業務やこれからの選択等に関心を寄せ、注目していただいていることは、大きな責任とともにやりがいも感じます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

沖縄県の業務は、幅広く多岐にわたりますが、行政職は全ての部局へ配属される可能性があり、多くの経験を積むことができます。新たな業務では、困難を伴うこともありますが、職場内にはフォローしてくれる先輩方や環境があり、失敗を恐れず挑戦していただけます。一人一人の得意とする面や個性を大事にし伸ばしながらも、幅広い面での能力を高め、これからの沖縄の将来を担う職員へと成長していただけます。

基地の返還による跡地利用や、沖縄の地理的優位性を十分に活かした振興策について、先輩方からバトンを受け取り具体的な形とするのは、我々の世代となります。皆様と一緒に働けることを楽しみにしております。

●現在どんな仕事をしていますか。

主に「小淵沖縄教育研究プログラム」を担当しています。これは、ハワイの教育研究機関である東西センターと連携して、沖縄県からハワイ大学院等へ派遣するプログラムです。私の役割は、本プログラムに必要な予算の確保や広報、東西センターと調整することです。また、ハワイへ出張し、東西センターとのミーティングや派遣している学生の状況を確認することも行っています。その他には、当課に配置された新採用職員のサポート業務等も行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

県職員の業務は幅広いですが、どの業務であっても沖縄県に貢献できることに魅力を感じ目指しました。大学生の頃まで「将来何がしたいか、何に向いているか」とずっと考えていましたが、様々なアルバイトを経験する中で、仕事は違っても、置かれた環境で人のために自分がどう貢献できるかと考えることで、仕事に主体的に取り組めることに気づきました。それからは、これからの人生で「生まれ育った沖縄県に自分がどう貢献できるか」と考えるようになり、県職員としてそれに挑んでみたいと思い志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

東西センターとのやり取りは、全て英語で行っています。ハワイへ出張し、東西センタースタッフの皆さんと対面で会議を行った際には、メール等でやり取りする場合は違い、英語でのスピード感のあるやり取りに緊張しましたが、事前に作成した資料を使って説明することで、なんとかやり遂げました。会議後に東西センターの方から「あなたの素晴らしい準備のおかげで、実りのある会議となった」と言ってもらえ、自信に繋がりました。入庁して早い段階から事業の中心となって働けることも県職員の魅力の一つだと思います。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

仕事をするにあたって、何を重視するかは人それぞれだと思いますが、仕事とプライベートを両立させたいと思う方もいらっしゃると思います。県職員は福利厚生がとても充実しているので、両立しやすい環境だと思っています。私自身、育児休業を約2年間取得し、仕事復帰後は育児短時間勤務や時差出勤等を利用しており、仕事と子育てを両立するにあたって大変助けられています！県庁でお会いできる日を楽しみに待っています！(^^)A



行政

企画部
科学技術振興課

近見 奈都江

平成 29 年～自然保護課
令和 4 年～現所属



ある1日のスケジュール

A M	7:45	登庁
	8:00	業務開始 メールチェック、スケジュール確認等
	9:30	班会議
P M	11:00	東西センターとのオンライン会議
	12:15	昼食・休憩
	14:00	委託事業者との打ち合わせ
	15:30	明日のスケジュール確認等
	16:30	退庁 (時差通勤 (8:00～16:30) 昼休み15分短縮)



心理

子ども生活福祉部
(現、こども未来部)
コザ児童相談所

前川 千菜津

令和 4 年～現所属



ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁
	9:30	療育手帳判定
	11:00	判定書作成
P M	12:00	昼食・休憩
	13:00	心理司会議
	15:00	児童面接
	16:00	記録・判定書作成
	17:15	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

主に療育手帳の判定、一時保護中の子どもへ心理アセスメントを行っています。子どもへ知能検査や発達検査を行い、保護者からは日常生活の状況を伺い、療育手帳の判定をしています。一時保護中の子どもに対しては、心理検査、行動観察や面接を行い、見立てや支援を考えます。子どもや保護者へフィードバックをしたり、必要に応じて継続的な支援を行います。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

初めは漠然と公務員を志望していましたが、どのような仕事があるかを調べていくうちに、沖縄県に心理職があることを知りました。大学で心理学を専攻していたこともあり、児童相談所など、実際の現場で働いてみたいと思うようになりました。また、県職員の業務は幅広く、様々な経験ができると思ったことも理由の一つです。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

子どもと面接を重ね、信頼関係を築けていると実感できたときや、次のステージに向かっていく子どもの姿を見ると、やりがいを感じます。子どもや保護者とのやりとりも多く、虐待、非行、発達など様々な背景がある人たちと関わる中で、その人たちが本来持っている力や良さ気づける立場でもあり、私自身も新しい視点が増えるように日々感じています。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

難しいと感じる業務もありますが、周りの上司や先輩方に優しくサポートしていただきながら、温かい雰囲気の中で働くことができています。様々な業務を経験し、自分自身の成長や、やりがいを感じることができる職場です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

先輩職員からのメッセージ

掲載職員の試験区分及び現在の所属部署等は令和6年2月末現在のものです。異動経歴は在籍時の組織名で掲載しています。



社会福祉

子ども生活福祉部
(現、生活福祉部)
宮古福祉事務所

石原 昌尚

令和2年～中央児童相談所
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	(生活保護訪問(多良間島)から帰所)
	11:00 登庁
	11:10 メールチェック等
P M	12:00 昼休憩
	13:00 ケース記録、生活保護費の算定処理等
	17:15 退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

生活保護(多良間島を管轄)、保育所監査、児童福祉(こいのぼり掲揚式)を所掌事務としています。通年で取り組んでいる業務は生活保護です。保護費の算定処理、被保護者の自立支援に向けて相談・支援等を行っています。保育所監査では、宮古島市内にある公立保育所/認定こども園、多良間村役場に対し、適正な施設運営及び入所事務等が行われているかチェックします。こいのぼり掲揚式では、市内の園児や管内マスコミを招待し、元氣いっぱいの園児たちの姿を見ることができ、式開催までの企画運営を担います。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

学生時代は非行少年の分野に興味を持って学業に励んでいたため、児童自立支援施設(若夏学院)で勤務することを第一に目指して志望しました。その他、児童相談所や福祉事務所等、幅広い分野で活動できる機会があり、様々な福祉に関する知識や経験を得たいと思ったことも理由の一つです。実際、入庁して4年が経過しましたが、机上では学べないことが数多く、日々勉強になっています。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

日々勉強になることばかりでそれだけでやりがいは感じています。ただ、この仕事をやってよかったと強く思ったエピソードは、一時保護所に入所していた児童が家庭復帰後、学校生活をうまく送れていると学校職員から連絡があったと聞いた時です。「彼らが子どもらしく楽しく地域生活を送れている。」、そのことが一番嬉しく、この仕事をやってよかったと思える瞬間です。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

学業やアルバイトと並行しながら、公務員試験の対策に取り組むことは大変だと思います。そして、入庁後は新しい環境に戸惑いや不安を持つかもしれませんが、福祉職の皆さんは温かく、困った時には相談に応じてくれる人が多いと感じています。ありがたい言葉でテンプレのように感じるかもしれませんが、実際に私が経験して感じたことです!入庁後は切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思います。



電気

●現在どんな仕事をしていますか。

企業局では、水道用水供給事業(水の卸売り)を行っていて、私は水道施設の整備計画に関する業務に携わっています。水道施設の整備計画と言われてもイメージしづらいと思いますが、将来にわたって安定的に水道水が供給できるように、将来的に必要な水量などを踏まえて、水道施設をどのように整備していくかを計画しています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

地元である沖縄が好きで、大学卒業後、県外に出ることなく沖縄の民間企業で働いていました。社会人として仕事をしているなかで、沖縄県に電気職が活躍できる仕事があることを知る機会があり、沖縄県職員を志望しました。どうせ働くなら沖縄のためになる仕事をしたいと思ったのがきっかけであったと思います。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

離島村の水道施設整備に関する業務に携わっている時期に、粟田村の水道施設でトラブルが多く発生した年がありました。同じ班の先輩や後輩職員とそのトラブル対応に追われていましたが、無事断水することなく、乗り切れたことが印象に残っています。当たり前のように蛇口から出る水道水ですが、影ながらそれを支えていると実感できました。

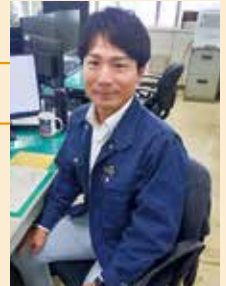
●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

私は企業局での業務経験しかありませんが、企業局内だけでも水道施設の計画や施設の建設、施設建設後の運用・維持管理など、技術職が活躍できる場があります。沖縄が好き、その沖縄のために何かしたいという気持ちがあれば沖縄県職員として良い仕事ができるかなと思いますので、一緒に将来にわたって魅力的な沖縄にしていきたいと思います。

企業局
総務企画課

神里 良太

平成27年～北谷浄水管理事務所
平成30年～建設課
令和元年～厚生労働省研修
令和3年～配水管理課
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:00 登庁 メールチェックや当日業務のスケジュールニング
	8:30 会議資料作成
	11:00 課内調整会議
P M	12:00 昼休み
	13:00 課内調整会議後の資料修正
	14:00 事務処理、業務調整、資料作成
	16:45 退庁(時差通勤(勤務時間8:00～16:45))



機械

土木建築部
下水道事務所

安里 春香

令和3年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:25 登庁
	8:30 メールチェック、書類チェック
	10:00 打合せ
P M	12:00 昼休憩
	14:00 現場立会、工程会議
	17:15 退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

下水道事務所では、流域下水道施設に伴う維持管理や工事発注・工事監督を行っています。下水道事務所の所管する施設には、浄化センターやポンプ場などがあります。私は主に機械工事の発注と工事監督を担当しています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学ではエネルギー環境工学を専攻し、機械工学をベースにエネルギー利用について学びました。大学3年生の時に下水道事務所のインターンシップに参加し、下水道事業の業務を体験することで、大学生活で学んだことを生かせるのではと考え志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

担当工事が完成したときの達成感が印象に残っています。限られた予算内での工事発注や工事の進捗管理など、大変なときもありますが、完成時に機械が起動したときはとてもやりがいを感じることができました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

沖縄県の業務は事務作業ばかりのイメージですが、現場での監督業務や研究など業務内容は多岐にわたります。専門的な業務については日々の勉強をかかせませんが、まわりの先輩がサポートしてくれるので心配ありません。明るく働きやすい環境とだと思いますので、一緒に働けることを楽しみにしています!



土木

企業局
建設課

赤嶺 諒

平成 30 年～久志浄水管理事務所
令和 3 年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁
	9:00	メールチェック等
	10:00	設計変更資料作成
P M	11:00	課内調整
	12:00	昼食
	13:00	受注者との調整
	14:00	資料作成・課内調整
	17:15	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

私たち企業局ではダムや川などから取水した水を浄水場で処理し、市町村へ水道用水を供給する事業を行っています。その中で、建設課の主な役割としては水道施設の新設や改良工事を担当しています。具体的には、古くなった導水管・送水管の改良や既設浄水施設の改良、周辺離島8村の浄水施設の整備などです。このような工事を発注し、工事の進捗管理や受注者との設計変更の対応等を行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学では物理学を専攻していたため、できる限り学んだ知識を生かせる仕事に就きたいと考えました。また、インターンシップで土木建築部にお世話になった際には、県職員の先輩方が専門性を生かして働いている姿や、職場の雰囲気よくなったことから沖縄県職員を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

海底送水管の改良工事に携われたことが印象に残っています。この工事は本部町から伊江島まで約7kmの区間に1本の長い送水管を布設するものでした。海上での作業はウミガメの産卵やモズクの養殖時期を避けて行う必要があったため、地元の漁業組合等と施工時期の調整や、工事業者と工程の調整など考慮することが多く大変でしたが、その分工事が無事に終わったときにはほっとしたと同時に達成感がありました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

公務員の仕事は事務作業だけだと思われがちですが、技術系の職員は工事の進捗確認や施設の維持管理等で現場へ出る機会も多く活動的な職場です。また福利厚生等も充実しており仕事とプライベートの両立にも取り組みやすいと思います。初めてのことで不安も多いと思いますが、県職員を目指されている皆さんと共に働ける日が来ることを心待ちにしております。

●現在どんな仕事をしていますか。

用地課では、土木建築部が実施する公共用地の取得に関する補償関係の指導、調整、調査業務等を行っています。その中で私は物件補償に関する事項について担当しており、各土木事務所の物件担当者や連携を取りながら業務に取り組んでおります。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学で建築を専攻しておりましたが、各分野の経済波及効果について勉強したことをきっかけに、建築以外の様々な分野と関わりのある仕事がしたいと感じ県職員を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

人事異動により、様々な分野の業務を経験できることや多種多様な業種の方と一緒に仕事ができることが県職員の魅力だと感じています。自分にはないスキルや資格、考え方を持つ方と出会うことで自身の視野を広げ仕事に活かすことができます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

県職員の建築職は計画から施工、その後の維持管理等幅広い知識を求められる職種です。配属先によって業務内容も様々ですが、上司や先輩方からサポートして頂いたり、同期とも情報交換をしたり協力しあえるので安心して業務に取り組めます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



建築

土木建築部
用地課

向井 千裕

平成 29 年～宮古土木事務所
令和 2 年～教育庁施設課
令和 5 年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁
	8:30	スケジュール確認・メールチェック等
	9:00	資料作成
P M	11:00	課内調整
	12:00	昼食・休憩
	13:00	照会事項の対応等
	15:00	資料作成
	17:15	退庁



化学

環境部
環境保全課

島村 修司

平成 29 年～北部保健所
令和 2 年～中部保健所
令和 5 年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:00	登庁(時差通勤)
	8:00	メール・新聞チェック等
	8:30	資料作成・調整等
P M	12:00	お昼休み(短縮取得のため12:45まで)
	12:45	資料作成・調整等
	14:00	委託業務の受託業者と打合せ
	15:00	資料作成・調整等
	16:30	退庁(時差通勤8:00から16:30)

●現在どんな仕事をしていますか。

現在所属している環境保全課の基地環境対策班では、基地環境問題等に関する業務を行っています。具体的には、有機フッ素化合物(PFOS等)の全県的な水質調査と土壌調査や、基地環境問題等に関する人材育成のための研修会、基地環境問題等に関する国への要請などを行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

学生時代は研究職を志望し県外で研究に打ち込みましたが、自身の未熟さから社会からの孤立感に悩み、地元沖縄で社会と密接に関わる仕事をしたいと思い職を探したところ、専門分野を活かせる数少ない求人の中で、県職員が最も社会との関わりが密接であるように感じ、県職員を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

入庁してから6年間は保健所で環境規制業務を担当し、窓口業務や、違反事業者の行政処分等の業務を経験しました。様々な業界の人と関わる中で、その人達の考え方や、世の中の仕組みが垣間見えた時にやりがいを感じました。現在の業務でも同様です。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

自分で工夫できることと定型で処理することのバランスがよく楽しいです。身体や精神に負担の大きい業務で大変なときは、上司や同僚がサポートしてくれました。また、自身でも、業務の楽しめる部分を探し工夫することで乗り切れました。志望理由を突き詰めておくと、心の支えになるかもしれません。

先輩職員からのメッセージ

掲載職員の試験区分及び現在の所属部署等は令和6年2月末現在のものです。異動経歴は在籍時の組織名で掲載しています。



農業

農林水産部
農業研究センター

佐久本 盛壮

平成30年～南部農業改良普及センター
令和2年～南部農業改良普及センター
北大東駐在
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:15	登庁
	8:30	メール・スケジュール等の確認
P M	9:00	栽培品目のほ場管理作業
	12:00	お昼休み
	13:00	土壌・植物の分析作業
	16:00	データとりまとめ
	18:00	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

農業研究センター土壌環境班では、農業分野に関係する土壌や肥料の研究を行っています。具体的には、環境負荷軽減を目的とした有機質資材の活用、化学肥料使用量を低減した栽培試験や温室効果ガスの増減を確認するために、土壌の炭素貯留量調査等を主な業務としています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学時代は農学を専攻し、学んだ知識を活かすことができる仕事をしたいと考えていました。沖縄の農業に関わる仕事の中で、県職員は普及（指導）、研究、行政等の幅広い経験ができる点が魅力的で、志望しました。入庁後、生産現場での技術普及や研究業務に携わることができています。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

採用後、3年目から農業改良普及員として、北大東村へ赴任しました。駐在員は一人での活動となり、当初は戸惑うこともありましたが、農家さんや地域の方々に支えられながら農業生産振興に携われたことが強く印象に残っています。また、農産物に病害虫被害が発生した際に、助言等により改善されたときは、やりがいを感じました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

農業職は、普及（指導）機関、研究機関、農業大学校、県庁での農業施策に関わる業務と様々な部署があり、大変な所もありますが、多くの経験ができ、成長できる職場です。また、福利厚生が充実しており、私自身も年次休暇や育児参加休暇を活用し、子育てを行っています。ぜひ仕事とプライベートを両立しながら一緒に働いてみませんか。皆さんの入庁をお待ちしています。

●現在どんな仕事をしていますか。

現職場では、漁港漁場整備事業計画の立案や、工事・委託業務の発注及び監督、漁港の管理等の業務を担当しています。業務の実施にあたっては、工事を実施する施工業者、漁港を利用している漁業従事者や漁業協同組合と調整及び連携を図りながら、より良い漁港・漁村環境づくりに努めています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学で農業土木を専攻していたため、そこで学んだ知識を地元である沖縄県に還元したいと考えたことや、職場に勤務する大学の先輩方からの勧めで、働きやすい職場環境だと感じ、沖縄県職員を希望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

令和3年度に海底火山噴火による軽石が県内の漁港にも大量に漂着し、漁業活動ができない状況となった為、漁港管理者として早急な対応が求められる事案がありました。過去にこのような事例はありませんでしたが、施工業者や関係機関と調整し軽石の除去・処分方法を模索し、なんとか漁港を復旧させることができました。大変な業務でしたが、迅速に対応したことで地元の漁業従事者や漁業協同組合から感謝の言葉をいただけて、とてもやりがいがあり、今後のモチベーションにもつながる仕事でした。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

沖縄県の農業土木職は、土地改良・農地農村整備・漁港漁場整備がありますが、どの仕事も沖縄県の1次産業を支える重要な役割を担っていて、やりがいを感じる仕事だと思います。私の場合、宮古島・石垣島などの離島だけでなく、県外（岩手県）での勤務もあり、沖縄県とは異なる環境の中で仕事をしましたが、様々な経験をさせていただいて、仕事だけではなくプライベート面も新鮮で充実した生活を過ごすことができています。是非、沖縄県職員として一緒に働くことを楽しみにしています！！



農業土木

農林水産部
北部農林水産振興センター
農業水産整備課

山田 琢巳

平成28年～漁港漁場課
平成30年～宮古農林水産振興センター
農林水産整備課
令和2年～岩手県沿岸広域振興局
宮古水産振興センター（派遣）
令和3年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:15	登庁
	8:30	メール確認・会議等日程調整
P M	9:30	工事の進捗確認
	10:30	業務調整（委託業務）
	12:00	昼食・昼休み
	13:00	工事立会
	16:30	業務スケジュール確認・見直し
	17:15	退庁



農芸化学

環境部
環境政策課

原田 駿

平成28年～中部保健所
平成31年～衛生業務課
令和4年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:10	登庁
	8:30	メール、新聞チェック
P M	9:30	担当案件の現場確認
	12:00	昼食・休憩
	13:00	他部署からの意見照会対応
	14:00	事業者との調整
	15:00	担当案件の審査
	17:30	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

大規模な開発事業等の実施前に、事業者自らが環境にどの程度影響を与えるのか評価を行い、環境保全に配慮したより良い事業計画を作り上げていくという環境影響評価（環境アセスメント）制度を通して、沖縄県の特色でもある希少な動植物が生息・生育する豊かな自然環境を守りつつ、持続可能な開発に資するための業務を行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

私は県外出身で大学進学を機に沖縄県に来たこともあり正直、入庁前には具体的なイメージはありませんでした。大学卒業後に海外での生活を経験し、帰国後に県の機関で臨時的任用職員として働いていた中で、漠然と「沖縄県全体に関われる仕事ってやりがいがあるだろうな」と感じ志望しました。実際に働いてみると様々な経験ができ、日に日に「沖縄県のため」という考えが深まっていると感じます。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

以前の配属での条例改正の業務が特に印象に残っています。賛成・反対どちらの立場の方々からも様々な意見が寄せられました。それらを踏まえ、内部で調整を行い改正案を作成していくといった作業はとても大変でしたが、同僚や上司のサポートもあり、無事に議会で可決されたときは、ほっとしたのと同時に沖縄県職員として沖縄県全体に関わる仕事をしていると改めて感じました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

沖縄県職員は「こんな制度があったらいいのに！」や「こんな取組みだったらもっと参加しやすいのに...」など、皆さんの『オモイ』を施策という『カタチ』として実現することのできる職場です。取り組む業務は数ヶ月・数年といった短期間ものから、場合によっては数十年以上の長期間のものまで様々なものがありますが、どれも沖縄県のより良い未来のための仕事です！是非皆さんの力を貸してください！！



畜産

農林水産部
畜産課

長坂 龍志郎

令和2年～八重山農林
水産振興センター
農業改良普及課
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:20	登庁
	8:30	メール・スケジュール確認
	10:00	関係機関との調整
P M	13:00	事業に関する資料作成
	15:00	その他事務作業
	17:15	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

畜産職は、肉用牛、乳用牛、豚、山羊、鶏、ミツバチ等家畜の生産振興をサポートする幅広い業務を行っています。その中で私は、牧草など主に肉用牛、乳用牛のエサとなる粗飼料生産振興業務を担当しております。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学時代に熱帯草地学を専攻していたことから、専門知識を活かせる仕事に就きたいと考えました。県外での就職も考えましたが、他県では見られない暖地型牧草の生産を活かした沖縄県の畜産業に興味を持ちました。また、行政・普及・研究と幅広い業務を行っている県職員の仕事に魅力を感じて畜産職を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

入庁から3年間は、八重山農林水産振興センター農業改良普及課で普及指導員をしていました。普及指導員は直接農家さんと接して農業技術指導や経営支援を行うわけですが、現場のノウハウがわからない未熟な私に対して地域の中心的な農家さんから親身になって飼養管理や草地管理技術を教えて頂きました。このノウハウを普及指導に活かすことで、改善が見られたときや直接農家さんから感謝されたときは嬉しくてやりがいを感じました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

畜産職は本庁や、家畜保健衛生所、畜産研究センター、家畜改良センター、農業改良普及センターなどの出先機関でも働く機会があり、様々な方向から畜産業に関わることが出来る魅力ある仕事です。福利厚生や手当も充実しているので、仕事とプライベートの両立にも取り組みやすいと思います。一緒に働けることを楽しみにしています！

●現在どんな仕事をしていますか。

私が所属する森林管理課では、森林の整備・保全から森林資源の利活用等に関して幅広い業務を行っています。私は主に、市町村等が行う森林整備（造林）に関する補助金の交付事務を担当しており、計画的な森林整備が進められるよう県出先機関や関係市町村の担当者及び試験研究機関と連携し、時には造林地の状況・課題を把握するための現地調査等を行いながら業務に取り組んでおります。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

幼少期の頃から森林散策やキャンプが大好きで、両親によく比地大滝や県民の森に連れて行ってもらいました。また、大学時代は森林生態学（土壌）を専攻していたこともあり、卒業後は森林に関わる仕事がしたいという思いが強く、地元である沖縄県の林業職に魅力を感じ、この職種を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

入庁2年目に担当していた林地開発許可業務において、日々の業務で見えてきた本県の抱える課題を整理し、改善策の見える化に取り組んだ内容を全国大会で発表する機会があり、受賞することができました。この経験を通じて、今まで自分なりに考え、取り組んできたことが評価されたと実感でき、県職員として働くやりがいを感じました。また、業務で森林に入ることも多く、現場の課題等を把握しながら、森林の美味しい空気を吸ってリフレッシュできることも林業職ならではの魅力だと思います。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

林業職は森林計画、森林整備、林業技術の普及指導、治山工事、林地開発等の許認可、研究など業務が多岐にわたるため、技術職として幅広いスキルを身に付けることができます。また、林業職は人数が少ないことから、業務で困ったことがあっても先輩や上司に気軽に相談できる、風通しの良い職場環境で働くことができます。ぜひ、沖縄の森林・林業の振興のために一緒に働きましょう。



林業

農林水産部
森林管理課

金城 彰太郎

平成28年～森林管理課
令和元年～八重山農林
水産振興センター
農林水産整備課

令和4年～森林管理課
※令和5年に3週間の産後ババ育休を取得



■ある1日のスケジュール

A M	08:00	登庁
	08:30	メールチェック・スケジュール確認
	08:45	関係機関からの相談対応・資料作成
P M	12:00	昼食
	13:00	補助金申請書の審査・交付事務
	17:30	翌日のスケジュール確認、退庁
【外勤時】		
A	08:30	国頭村へ出発
M	10:30	国頭村内の造林地調査
P	18:30	帰庁

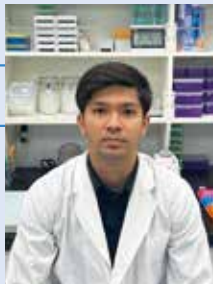


水産

農林水産部
水産海洋技術センター

安里 聖貴

平成30年～八重山農林
水産振興センター
農林水産整備課
令和3年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:25	出勤
	8:30	メールチェック、事務処理等
	9:00	魚病検査依頼養殖業者へ聞き取り、問診票作成
P M	10:00	検査開始（解剖、DNA抽出等）
	12:00	昼休み
	13:00	検査開始（PCR等）
	15:00	事務処理・資料作成
	16:30	検査結果の確認及び報告
	17:15	退勤

●現在どんな仕事をしていますか。

私が所属する水産海洋技術センターでは、海洋環境の特性を把握するための定期的な観測、有用資源の探索やその生物情報の収集・分析、また種苗生産及び増養殖技術に関する試験等を行っています。その中で私は、クルマエビやイトハタ等の養殖用種苗のウイルス保有検査や、養殖場で疾病が発生した場合の原因特定とその対策指導などを主な業務としています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学で生物分野について学んでいたため、その知識を活かせる仕事をしたいと考えていました。また、地元である沖縄の綺麗な海や自然の中で生活すること、美味しい水産物を食べることが好きで、沖縄県の水産業に興味を持ちました。また直接的な業務だけでなく、行政・研究・普及と幅広い経験ができる県職員の仕事に魅力を感じて水産職を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

沖縄県には他県では見られない水産物が多くあり、また現在の業務上で魚類の生育そのものに触れる機会が多いので、水産養殖に関する様々な知識を知ることができてとても勉強になります。能力不足を感じることもありますが、漁業者の方々と一緒に課題への取組を行った結果として、現場の活性化に役に立つことができたと感じられる時に、やりがいを感じます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

一口に水産関係の業務、といっても様々な分野に跨った複雑なものも多く、県職員はその分だけ多くのことを勉強していかなければいけないので大変なことも多いですが非常にやりがいを感じられる仕事です。何か分からないことがあっても沢山の先輩方が熱心に教えてくれますし、福利厚生等も充実しているのでプライベートとの両立もしやすいと思います。

先輩職員からのメッセージ

掲載職員の試験区分及び現在の所属部署等は令和6年2月末現在のものです。異動経歴は在籍時の組織名で掲載しています。



病院事務

病院事業局
病院事業局経営課

稲福 芽依

令和2年～南部医療センター・
こども医療センター総務課
令和4年～南部医療センター・
こども医療センター医事課
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁 メール確認・スケジュール確認
	9:00	資料作成、各病院との調整
P M	12:00	昼食
	13:00	資料作成、班内調整等
	17:15	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

現在は、資金管理、計画等を行っています。公営企業会計として、各県立6病院及び本庁の7セグメントで日々事業が営まれています。その中で、本庁において7セグメントの日々の収入・支出の流れを把握し、各担当者と調整をしながら、適切な現預金の運用を図っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

学生時代に学んだ会計学の知識を活かした仕事に就きたいという思いがありました。その中で、全国的に公立病院が赤字経営に陥りながらも、不採算分野や災害拠点として県民への医療提供を行っていることを知り、貢献できればと思い志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

6病院と本庁の決算調製をとりまとめ、決算書の作成をしたことです。調製を行っている中で、病院事業会計の経営成績をまとめ、資金繰りや予算との関連性が見えてきて日々勉強しながら成長を感じ、やりがいを感じることができました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

病院事務の業務といえば窓口業務をイメージする方が多いと思いますが、給与・人事、経理、施設運営、診療報酬請求業務等多岐にわたります。病院現場では専門用語も多く飛び交い、はじめは戸惑うことも多くあると思いますが、まわりの先輩方に教えてもらいながら知識を習得することができ、また、セミナー受講や資格取得に向けた研修の補助等もあるのでスキルアップを図ることも可能です。

ぜひ、病院事務職員として一緒に働きましょう！

●現在どんな仕事をしていますか。

現在、豊見城警察署の会計課において遺失・拾得業務を担当として、落し物をされた方からの遺失届の受理や照会、見つかった場合の返還手続き、また落し物を届けていただいた方への対応や書類の作成等を行っています。そのほか、歳入関係等の会計業務も行っていきます。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

大学卒業後、約5年間は民間の保険会社に勤めていました。民間で働く中で、将来的には生まれ育った沖縄のために働ける職に就きたいと考えており、調べてみると「警察事務」という職種があることが分かりました。

警察事務の職務内容は多岐にわたるため、様々な経験ができることを知り、沖縄の安心・安全なまちづくりを行う組織の基盤を支える沖縄県警察事務職員に魅力を感じるようになりました。また、これまでの職務経験を少しでも活かすことができればと考え志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

遺失・拾得業務は毎月月上旬～中旬～下旬の定例業務があります。配属当初はその内容を覚えることに精一杯で、自分が行っている仕事にどのような意味があって、どう進んでいくのかをうまく考えられないことが多かったです。今では先輩方からの教えもあり、業務の繋がりを意識できるようになってきました。経験を積むたびに幅広い知識を得る必要を感じ、もっと頑張ろうと思えるので、そのような経験を今後も各部門で積むことができると考えると、魅力的な職種だなと感じます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

警察署の会計課では、職員だけではなく県民の皆さまと関わる機会が多くあり、感謝の言葉を頂くことも多いです。初めは仕事で覚えないといけないことや遺失・拾得業務で外国人の方への対応をすることもあり、大変だなと感じることもありましたが、先輩方からの指導や県警察の通訳員の方々との連携もあり、チームワークで業務を進めることができています。県民をはじめ、色々な方々のために働いていると実感できるやりがいのある職種だと思います。是非、この魅力的な仕事を一緒に頑張りたいと思っていただける方が来てくれると嬉しいです！



警察事務

豊見城警察署
会計課

宮里 千菜美

令和4年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	9:10	出勤
	9:30	業務開始
P M	10:00	窓口対応（遺失・拾得物の受理）
	12:00	昼食
	13:00	遺失・拾得物の登録、照会
	15:00	会計業務、書類作成及び整理
	18:15	退勤



県立学校事務

沖縄県立
宮古総合実業高等学校

楚南 竜磨

令和3年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:25	出勤
	8:40	当日のスケジュール確認
P M	9:00	備品業務（購入備品の受入手続き、備品修繕に係る業者対応、上記の支払事務など）
	12:00	昼食
	12:45	受付業務（学校に届くメールチェック及び担当振り分け）
	13:30	旅費業務（出張をした職員の旅費計算及び支払事務）
	16:55	退勤

●現在どんな仕事をしていますか。

学校事務職員は、職員の給与計算や旅費計算、学校の備品管理や施設管理など、学校の活動を支える仕事を行っています。

現在私は、県立宮古総合実業高等学校に勤務しており、備品の購入や、旅費計算、服務管理を担当しています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

以前より教育分野に携わりたいと考えていたところ、学校教育に貢献できる県立学校事務の職を知り志望しました。学校事務職員の業務内容はイメージしづらいかと思いますが、学校運営に必要不可欠な仕事となっています。是非、志望してみてください。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

とくにやりがいを感じる業務は学校備品の購入です。その中でも入札業務は、教員や業者の方と綿密にやり取りをしながら、高額な備品を購入することになります。そのため、事務の中でも緊張感のある業務ですが、購入後に職員や生徒が喜んでる姿を見ることができ、やりがいを感じます。また、購入後は自分が学校を離れても、長い間生徒の学びに貢献するものとなりますので、責任感を持って仕事をすることができます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

学校事務職員は普段静かな事務室の中で仕事をしていますが、ふとした時に教室や廊下から生徒たちの朗らかな声が聞こえてきて、忙しい中でも元気をもらうことができる明るい職場です。子どもたちが学校で快適に活動できる環境を一緒に支え、未来へ歩む背中を優しく見守っていきましょう。



県立学校事務 II

沖縄県立
読谷高等学校

比屋根 優希

令和3年～恩納村文化情報センター
令和4年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:30	出勤 職員朝会
	8:45	開館準備
	9:00	朝の清掃活動(生徒と一緒に)
	9:15	開館(カウンター業務・書架整理・選書など)
P M	11:45	昼食
	12:30	カウンター業務・選書・企画展示・図書受入
	17:00	放課後業務委託スタッフへ引継
	17:15	退勤

●現在どんな仕事をしていますか。

県立高校の図書館で司書の仕事をしています。貸出・返却・レファレンスなどのカウンター業務、選書、本の登録、授業で図書館を利用する際の支援や企画展示の準備などを行っています。

特に選書やレファレンスには力を入れており、いつでもふらっと来なくなるような親しみやすい図書館が作れるよう、環境・空間づくりに励んでいます。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

母親の影響で幼い頃から読書や本に囲まれた図書館という空間が好きだったこともあり、司書を志しました。学校図書館を志望した理由は、その自分が好きなものや培ってきた感性がもしかしら誰かにとっては良い影響を与えられるのではと思い、特に人生の方向性を左右する高校生という多感な時期に、司書として人生の視野を広げる手助けをしたいと思ったからです。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

図書館には主に小説や学習本が多い印象で、建築やインテリア、ファッションなどのアート関連本がもっとあればいいなと思っていたのもあり、採用された1年目からは選書に力を入れています。

去年生徒に美大を受験した子がいたのですが、その生徒が「先生が購入した本を読んだおかげで無事美大に合格しました」と報告をしに来てくれた時は、とても嬉しく司書という仕事を選択して本当に良かったなと思いました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

司書の一番の魅力は自分の好きな趣味を仕事に繋げられることだと思います。今まで培ってきた自分の知識や経験、感性のすべてが図書館づくり、生徒とのコミュニケーションに直結し、自分の個性が人の役に立つ瞬間を肌で感じられ、生徒と共に成長できるとも素敵な職業です。ぜひ司書として皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

●現在どんな仕事をしていますか。

主に職員の給与や服務に係る業務を行っています。給与面では、職員の各種手当の認定業務や確認作業を行っています。服務面では、出退勤の管理や手続きを行っています。現在の学校ではその業務に加え、教科書の発注や児童名簿の作成、電話による児童欠席連絡を電子欠席届へ入力する業務も行っていきます。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

当初は漠然と公務員になりたいという考えだけで県職員を志望していました。その際に、知人から市町村立学校事務の業務内容を聞きました。給与の計算や手当の認定等のデスクワークに加え、職員、保護者、児童とも関わりが持てる、やりがいを感じる業務内容だと知人が語ってくれました。その話を聞き、業務内容が私の性格に合っていると感じ、学校事務を志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

給与の計算や手当の認定等は、やればやるほど知識が付き対応が早くなります。そこに自身の成長を実感出来るので、非常にやりがいを感じます。更に、以前在籍した与那国島では地元の方と関わりを持ち、これまで体験した事無かった独特の行事や風習を体験する事が出来ました。島の行事・風習を体験出来た事は凄く印象に残っています。初めて行く離島の行事・風習は未だ見ぬ沖縄の魅力だと思います。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

市町村立学校事務は、これまで見えてこなかった新しい自分を発見出来る可能性を秘めていると思います。県内全域が異動対象となるので、異動先の学校で新しい経験をする事が出来ます。実際に私も、採用前は縁も興味も無かった与那国島で新しい経験をさせてもらい、与那国島が大好きになりました。皆さんも市町村立学校事務で新しい体験、そして新しい自分を発見してみませんか？



市町村立学校事務

北谷町立
北谷小学校

儀武 克幸

平成25年～与那国町立与那国小学校
平成28年～那覇市立安謝小学校
平成31年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:15	出勤
	8:30	電話対応、欠席届入力
	9:00	出退勤システム確認、休暇処理簿確認
	10:00	メール等確認、文書受付
P M	11:15	教科用図書関連書類作成
	12:30	給食
	12:50	調査物書類等作成
	14:00	給与関係書類等作成、確認
	15:45	終礼、職員会議
	16:45	退勤

●現在どんな仕事をしていますか。

私が所属する宮古事務所県税課は、行政運営において重要な役割を担う税を扱う県税事務所で、自動車税などの県税の賦課徴収に関する業務を行っています。税制度は、毎年の税制改正を経て年々複雑化していますが、地方税法などの法令規定に基づき、公平・適正に処理できるよう日々奮闘しています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

元々は地元の市役所を志願していましたが、県職員への採用が決まり、一度県職員として働きながら考えようと決心し入庁しました。実際に県職員として業務を行っているうちに、幅広い分野で県全体のために働けることや福利厚生が充実していることに魅力を感じ、県職員として働いていくことに決めました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

税務に携わっていく中で、地方税法を所管する総務省への派遣の機会をいただき、1年間研修生として総務省にて従事しました。そこでは自動車税制に関する調査や毎年の税制改正に伴う法律改正(法制作業)に携わることができました。県ではなかなかできない貴重な経験ができたことと実感しています。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

県は組織が大きく、3年毎の人事異動で新しい環境で仕事ができるため、飽きないのが魅力の一つだと思います。仕事に行き詰まっても経験豊富な上司や先輩方に気兼ねなく相談できるので、安心して業務を進めることができます。また、職員が多いのでたくさんの職員との出会いやドラマがあります。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



初級一般事務

総務部
宮古事務所県税課

宇良 颯

平成28年～那覇県税事務所
令和2年～総務省(研修)
令和3年～税務課
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:25	登庁
	8:30	メール・スケジュール確認
	9:00	課税業務・電話・窓口対応
P M	12:00	昼休み
	14:00	現地確認
	15:30	資料作成
	16:30	課税業務・電話・窓口対応
	17:30	退庁

先輩職員からのメッセージ

掲載職員の試験区分及び現在の所属部署等は令和6年2月末現在のものです。異動経歴は在籍時の組織名で掲載しています。



初級土木

土木建築部
北部土木事務所

當山 彰悟

令和2年～中部土木事務所
令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	8:30	登庁
	8:35	メールチェック、班内調整等
	9:30	業務調整
P M	11:00	工事資料確認
	12:00	昼食
	13:00	現場立会
	15:00	会議調整資料作成
	17:00	雑務
	17:30	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

北部土木事務所では管内12市町村の道路、公園、河川、港湾、海岸等のインフラ整備を行っています。現在、所属している都市港湾班では港湾施設の整備や維持補修、街路改良、空港、公園事業を行っており、私は主に維持補修工事や街路改良工事を行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

工業高校で社会基盤を学ぶ機会があり、工事を通してインフラ整備に携わる公務員に興味を持ちました。県民生活を支える社会基盤を整備し、よりよい環境を作れることや学んできた専門分野が活かせると思い志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

道路の維持修繕に携わり、普段使用している道路の傷んだ舗装やガードレールの修繕、標識の修繕の工事を発注、監督し、実際に工事を進め完成した際に県民の方から直してくれてありがとうと声をかけられた時など、県民の生活を支えている実感がわき、やりがいを感じました。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

業務内容は多種多様で、様々な業務に携われることが魅力の一つでもあると思います。業務内容は大変なこともありますが上司や先輩職員に助けられ安心して働くことができる職場です。沖縄県の発展を担う意義のある仕事ですので一緒に働いてみませんか。



初級農業土木

農林水産部
宮古農林水産振興センター
農林水産整備課

西浜 悠人

令和2年～中部農林土木事務所
令和5年～現所属



●現在どんな仕事をしていますか。

宮古農林水産振興センター農林水産整備課では、農業農村整備、森林整備、漁港整備等の幅広い事業を行っています。現在、配置されている農業水利班では、農業農村整備におけるほ場整備及び畑地かんがいの工事を行っており、私は主にほ場整備の工事監督を担当しています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

高校卒業後の進路がまだ決まっていなかった時に、進路担当の先生から農業土木職（初級）の試験を進められ、勉強をしていく中で、農業の基盤を支えるこの仕事に魅力を感じ、志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

農業水利班で工事を担当していく中で、業者・農家との調整を重ね、現場が進み施設が出来上がり、きれいになっていく農地を見ているとやりがいを感じます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

高校では造園について学んでおり、農業土木に関して無知でうまくやっていたら不安でした。しかし、上司や先輩からのサポートは厚いため安心して働ける職場です。また、農業土木職対象の研修も多く実施されているので、勉強できる機会がたくさんあります。ぜひ、農業発展のため一緒に働きませんか。

■ある1日のスケジュール

A M	8:25	登庁
	8:30	メール・日程確認
	10:00	業者調整
P M	12:00	昼休憩
	13:00	班会議
	14:00	事務処理
	16:00	農家調整
	17:15	退庁



初級警察事務

沖縄県警察本部
警務部警務課

屋良 駿

令和5年～現所属



■ある1日のスケジュール

A M	9:15	登庁
	9:30	業務開始
	10:00	装備品や制服の支給・書類作成等
P M	12:00	昼食
	13:00	業者との物品調達の電話
	15:00	業者から物品を受領・手続き
	18:15	退庁

●現在どんな仕事をしていますか。

現在所属している警務課は、企画・人事・給与・装備など警察組織の運営に関わるさまざまな業務を担います。その中で私は装備を担当しており、警察官が装着する制服や装備品の調達・管理を行っています。

●沖縄県職員を志望した理由を教えてください。

私自身、幼い頃に警察官の方に助けていただいた経験があり、沖縄県の治安維持に携わる警察組織を、さまざまな面でサポートしていくことのできる警察事務職員に魅力を感じ、志望しました。

●やりがいを感じた業務や印象に残っていること、沖縄県の魅力などを教えてください。

私が担当する業務では警察官への制服の支給などを行います。警察官は日々、地域の治安維持活動を行う中で、着用している制服が破れたり、汚損したりすることがあります。新しい制服を受け取った警察官がそれを身に着けて現場へ向かう姿を見ると、私も治安維持のための活動を支える警察職員の一員としてやりがいを感じます。

●沖縄県職員を目指している方へメッセージをお願いします。

警察事務職員の仕事は会計事務のほか、各警察署での拾得物の取扱いや運転免許センターでの窓口業務、犯罪現場から採取された指紋の鑑定業務及び交通規制業務など多岐にわたります。専門的な業務を学ぶための研修制度が充実しているのも魅力の一つです。ぜひ、沖縄県警察の一員として一緒に働いてみませんか。

採用試験 Q&A

Q. 人事委員会が行う採用試験の種類にはどのようなものがありますか？

例年3月中旬に公表する試験計画に基づいて、県職員採用試験（上級・上級（特別枠）・中級・初級、警察官）、障害者を対象とした県職員採用選考試験を行っています。

Q. 年度によっては試験が実施されないこともありますか？

退職者数の状況などにより、年度によって試験を行わない試験区分があります。

実施の有無、採用予定数については、試験計画（例年3月中旬公表）又は各試験ごとの試験案内をご覧ください。

Q. 教員や看護師など、他にどんな職種の採用がありますか？

専門的な知識、特殊な技術、特定の免許・資格を必要とする業務を行う職員（例：獣医師、看護師、教員、学芸員など）の採用については、欠員の状況に応じて、各任命権者（知事、警察本部長、教育委員会、病院事業局長など）が採用選考試験を行っています。

選考試験実施の有無等については、各任命権者のホームページ等を確認してください。

Q. 学歴、年齢、出身県や性別などによって、試験結果に有利・不利はありますか？

各試験ごとの受験資格を満たしていれば、受験者の学歴、年齢、出身地、性別などによる有利、不利はまったくありません。

Q. 受験には特別な資格・免許が必要ですか？

一部の試験では、指定された資格の取得又は取得見込みであることが要件となっています。

受験に際しては受験資格を試験計画又は試験案内で確認してください。

Q. 年齢制限や学歴制限はありますか？

受験資格として年齢による制限がありますので、試験計画又は試験案内で確認してください。

学歴については、上級・上級（特別枠）・中級試験・障害者を対象とした採用選考試験については制限がありませんが、初級試験、警察官A・B採用試験については制限があり、受験できない場合があります。

詳しくは試験計画等で確認してください。

Q. 複数の試験種類を申し込み、受験することはできますか？

試験種類（上級・上級（特別枠）・中・初級、警察官）を異にする併願は、それぞれの受験資格を満たしていれば可能です。ただし、中級試験と初級試験、警察官B試験と障害者を対象とした採用選考試験のように、試験日が同じ場合は併願できません。

また、中級試験の県立学校事務と市町村立学校事務のように、同一の試験種類内で、複数の試験区分を申し込むことはできません。なお、申込後の変更はできません。

Q. 試験計画や試験案内に記載されている「人事委員会が大学を卒業した者（見込みを含む。）と同等の資格があると認める者」とは何ですか？

外国の大学の卒業生、職業能力開発大学校の応用課程修了者、「高度専門士」の称号を取得することができる専門学校の修了者などについて、大学を卒業した者と同等の資格があると認めてきましたが、個別に判断していますので、人事委員会事務局総務課に問い合わせてください。

Q. 受験申込書や試験案内はいつからもらえますか？

受験申込書等は、試験計画（例年3月中旬公表）に記載されている試験案内等配布開始日から配布します。

各年度や試験の種類に応じ、試験の実施方法や時期が例年と異なることがあります。

受験を検討する試験ごとに上記の試験計画をご確認ください。

Q. 受験票はいつ届きますか？

受験票は、第1次試験日の1週間前に発送します。第1次試験日の5日前までに到着しないときは、人事委員会事務局総務課に連絡してください。

Q. 県外の試験会場はありますか？

県外での試験は実施していません。

Q. 第一次試験の服装はどうすればよいですか？

第一次試験の服装は特に指定などはしていませんので、軽装での受験が可能です。

Q. 台風の接近時における試験実施の有無については、どこに確認したらいいですか？

試験実施の有無については、ホームページに情報を掲載しますので、ご確認ください。

Q. 電話で成績開示はできますか？

個人情報にあたるため、電話での成績開示は行っていません。

直接、人事委員会事務局に来課するか、県行政情報センターを通して文書による開示請求をしてください。

Q. 試験に合格すると必ず採用されるのですか？

試験の合格者について、採用を保証するものではありませんが、実態としては、本人が辞退する場合等を除き、全員採用されています。

試験案内・受験申込書入手方法

1. ホームページから入手する方法

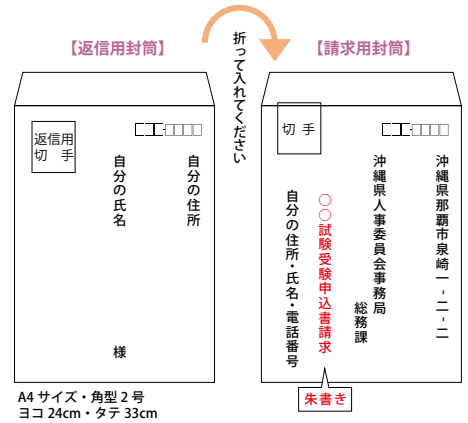
配布開始から一定期間は、当委員会のホームページからダウンロードすることができます。



人事委員会 HP

2. 郵送により請求する方法

試験案内・申込書を郵便で請求する場合は、請求用封筒に返信用封筒（角形2号封筒に住所、氏名を明記し、120円分の切手を貼ったもの）を入れて、人事委員会事務局総務課（警察官採用試験については、沖縄県警察本部警務課人事係）までお送りください。（右記参照）



A4サイズ・角型2号
ヨコ24cm・タテ33cm

3. 直接入手する方法

	配布場所	住 所	電話番号
県内	沖縄県人事委員会事務局	〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 県庁行政棟2階	098-866-2545
	名護県税事務所	〒905-0015 沖縄県名護市大南1-13-11 沖縄県北部合同庁舎1階	0980-52-2170
	コザ県税事務所	〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1-6-34 沖縄県中部合同庁舎1階	098-894-6500
	沖縄県宮古事務所総務課	〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里1125 沖縄県宮古合同庁舎2階	0980-72-2551
	沖縄県八重山事務所総務課	〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里438-1 沖縄県八重山合同庁舎2階	0980-82-3040
県外	沖縄県東京事務所	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階	03-5212-9087
	沖縄県大阪事務所	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階	06-6344-6828
	沖縄県名古屋情報センター (沖縄県大阪事務所名古屋駐在)	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中部日本ビルディング4階	052-263-3618

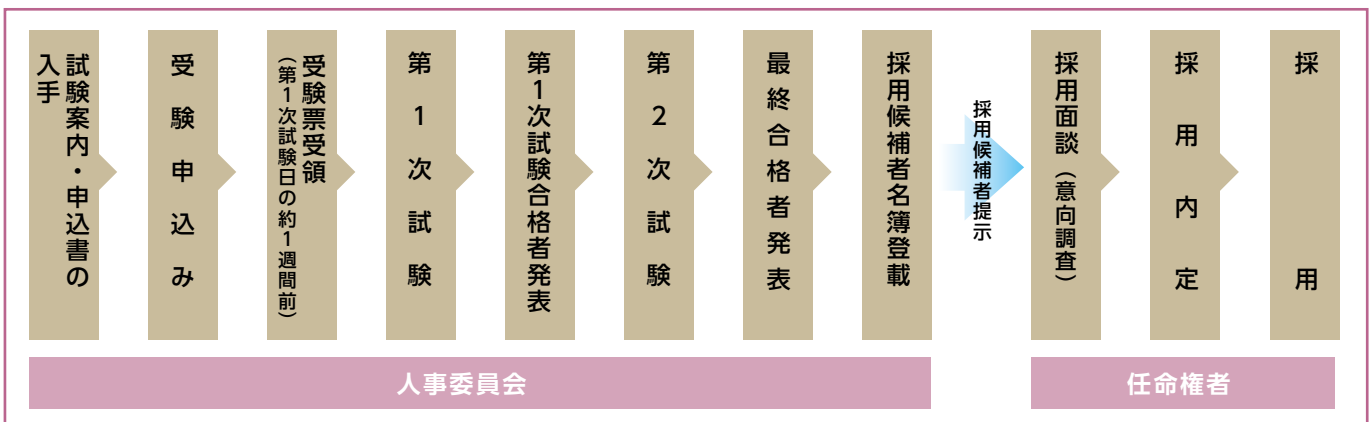
※警察官採用試験については、県警察本部警務課、県内各警察署で配布

申込方法

電子申請（インターネット）により申し込んでください。

詳細は試験案内、又はホームページの申込方法をご覧ください。

受験申込から採用までの流れ



沖縄県人事委員会事務局 総務課 任用担当

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟2階(北側)

電話番号：098-866-2545

FAX番号：098-866-2541

http://www.pref.okinawa.jp/site/jinji_i/8481.html